

令和7年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:8月31日(日)② 担当部局・担当課名:地方創生局デジタル化推進室

事業名	デジポックとやま実証実験プロジェクト事業	評価結果	現行どおり・拡充
-----	----------------------	------	----------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・「課題解決」と「スタートアップ支援」という矛盾する可能性がある2つが事業の目的とされており、焦点が定まっていないように思う。課題解決が目的なら、既存の安価なSaaS(Software as a Service)を活用すればよいのではないのか。スタートアップを育成・支援するならば、ビジネスモデルを徹底的に審査し、全国展開できる独自のサービスに特化させるべきではないか。
- ・事業を通じて富山県を「実証実験フィールド」として認知度を高めるという方向性もあるので、他の県ではできないような富山特有の環境(例:スマート農業)を活用した実証を行うことも考えられるのではないか。その場合、良い成果が出たものをデジタル庁のデジタルマーケットプレイスに載せ、全国展開する方法も有用。
- ・事業終了後の持続的な運用(予算化や民間資金の獲得)を重視すべき。
- ・令和7年度は、既存の有名サービスが中心となっており、「実証実験」というよりも「調達」の性格が強くなっているように感じる。
- ・県外企業に頼らざるを得ない場合であっても、地元の企業を参画させて技術を吸収し成長を促進できるような形を検討すべき。
- ・富山県と富山市が類似の事業をバラバラに実施するのではなく、連携を強化すべきではないか。

【県民評価者の意見】

- ・ウェルビーイングに繋がるという観点から、県が、個別性が高い課題解決の需要に振っているのは良いと思った。

県民評価者の評価シートによる評価				県民評価者総数	19
評価区分	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	3	1	5	4	6 (現行6、拡充0)
県民評価者の 主なコメント	評価結果と 同じ評価	【現行どおり・拡充】 ・デジタル技術の活用によって地域課題の解決を目指すことで、ウェルビーイングの向上につながっている。 ・小学、中学、高校の子どもたちからも地域の課題を募集すればよいのではないかな。			
	上記以外	【抜本的改善】 ・マーケットプレイス化を目指すことには賛成であり、県としてはスタートアップを支援し、実証実験の場を与えるという立場での組立てがよいのではないかな。 【一部改善】 ・県内の企業が参加しやすいように、県内と県外とで参加条件を変えればよいのではないかな。 【役割分担見直し】 ・課題解決やデジタル化の取組みが全国的な課題と重複しており、既存のシステムやサービスをカスタマイズして使えるのではないかな。 【行政の関与不要】 ・県内でお金の流れが生まれるような仕組みづくりが必要であり、富山県に拠点を置く会社(創業者)向けの補助に切り替えるべきではないかな。 ・民間企業が開発したサービスを必要に応じて購入する仕組みでよいのではないかな。			

【参考】委員による評価

【参考】委員による評価				委員総数	4
評価区分	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	0	3	1	0

事業名	デジポックとやま実証実験プロジェクト事業	評価結果	現行どおり・拡充
-----	----------------------	------	----------

【事業レビュー結果を受けた県の対応】

今後の 対応方針	拡充	事業内容見直し			
		○事業目的を「デジタルを活用した地域課題解決及び実証実験成果の県内定着」と明確化 ○実証成果の創出につなげるため、実証期間をより長く確保 ○実証成果の県内定着を進めるため、関係団体・企業への説明会や実証外地域での周知活動等も実施できるよう1件当たりの実証費用を増額			
令和8年度 当初予算 要求時 の対応	R8当初予算 (要求額)	37,000(千円)	R7当初予算	34,000(千円)	増額 3,000(千円)
	増減理由	地域課題の解決・定着を進めるため実証費用を増額			

当初予算編成プロセスの見える化

令和8年度当初予算	要求状況	要求額	37,000(千円)		前年度予算額	34,000(千円)
		事業の目的	デジタルを活用した地域課題解決及び実証実験成果の県内定着			
		事業内容	○富山県が抱える地域課題解決に向けた最新のデジタルソリューションを活用した実証実験の実施			
		積算内訳	実証実験プロジェクト20,000千円、プロジェクト運営・課題整理等17,000千円			
	予算編成過程における議論など		事業レビューにおける意見を踏まえ、事業目的を明確化し、実証費用の増額などの実証実験成果創出のための支援の見直しを実施			
	最終的な予算案	予算額	37,000千円		R⑦.2月補正	
		要求時点からの変更点	変更なし			